



財団法人柳田國男・松岡家
顕彰会記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原 1038
の12
電話：0790-22-1000

企画展

カップパ展

3月5日(土)～3月27日(日)

記念館では今年度の最後を飾る企画展「カップパ展」を開催します。

昨年は「ゲゲゲの女房」が人気を博し、さらに水木しげるさんが文化功勞者になるなど、水木さんはズバリ何か持っていました。その水木さんには「河童の三平」という作品があります。



水木しげる「河童の三平」

一方、柳田國男にも「河童駒引」(『山島民譚集』)という河童に関する民話を集めた論考があります。そして『故郷七十年』でも市川の駒ヶ岩で水遊びをしていると河童にお尻を抜かれるという逸話があります。

さて今回は明石市におられた故田中庸介氏の「かつぱのミイラ」などの、カップパコレクションを明石市の明石市立文化博物館より借用し、展示をします。

資料紹介

今回、カップパ展にて展示する「かつぱのミイラ」は昭和48年3月17日夜、鳥根県沖島沖で操業中の力二漁船が、海底200メートル周辺から底曳き網で引き揚げ、漁師が持ち帰ったもので、当時新聞紙上でも話題になりました。その後、城崎町(現豊岡市)の方を経て、縁があつて田中氏が所有すること



かつぱのミイラ(明石市立文化博物館所蔵)

になりました。

カップパ講談

謎の講談師 河南堂 珍元齋さんが楽しくカップパについてお話しするカップパ講談を行います。

また人と自然の博物館の大谷剛さんがカップパとはどんな生き物なのかについて講演されます。

日時 3月13日(日)
14時から

場所 柳田國男生家
申込 電話(0790)

22,1000

くによはん覚書

笠地藏

昔々ある村に、至つて心の善い爺と婆とが住んでいました。爺は毎日編笠をこしらえて、町へ出て売つて暮しを立てており

ました。明日は正月という日にも笠を売りに出ましたが、幕の市だから笠などは少しも売れません。しかたがないので笠を背負つて戻つて来ると、吹雪の中で野中の地蔵様が、ぬれて寒そうに立つておられます。御氣の毒だと思つて、六つある笠を六つの石地藏様に着せて上げました。そして家へ来て婆にその話をして、何もする事がな

いから寝てしまいました。年越しの夜の明け方に、遠くの方から櫓すりを曳ひく音がして、歌の音が聞えて来ました。

「六台の地藏さ 笠取つてかぶせた 爺あ家はど



こだ 婆あ家はどこだ」
こういつて櫓を曳く声
が、段々と近くなつて来るので、起き出して、こ
こだこだというと、戸
の口へどつさり、宝物
の袋を投げ込んで置い
て、六人の地藏様が帰つ
て行く後影が見えたそ
うです。「日本昔話」集
信仰心と無欲さを称え
るちよつといい話です

(財)柳田國男 松岡家顕
彰会が解散し、記念館は町
営になります。

(財)柳田國男 松岡家顕
彰会は来年3月末日をも
つて解散し4月からは町
営として運営されます。
地域の皆様に親しまれ愛
される記念館が町営とし
て実現できることを福崎
町に依頼しております。
皆様の意見は直接、福崎
町教育委員会社会教育課
までお寄せ下さい。
220560(内線256)